

美容サービスのトラブルにご注意を

雑誌やインターネット上では、エステティックサービスや美容クリニックの広告がたくさん掲載されています。「やせた」「きれいになった」と良いことばかりが書かれています。反対に苦情の相談も全国の消費生活センターに寄せられています。自分の体にダメージを与えることにもなる美容サービスの契約は、慎重にすることが大切です。

美容サービスには、エステティックと美容医療があります。

▶**エステティック**…マッサージや脱毛、まつ毛エクステなど

▶**美容医療**…脱毛や脂肪吸引、アートメイクなど

消費生活 ニュース



住民保険課 ☎ 34-2087

エステの相談事例

Q 雑誌を見てサロンに行き、30回の痩身コースを申し込みました。数日後職場の異動があり、前より忙しくなるため通えなくなりそうです。やめることはできますか。

A 契約してから8日間以内ならクーリング・オフができます。8日間を過ぎてもエステを受ける有効期間内であれば、中途解約ができます。キャンセル料の上限も決められています。

美容医療の相談事例

Q インターネットで見た美容クリニックで、レーザー脱毛6回コースを契約しました。3回通ったところで引越すことになりました。残り3回分の料金は返ってきますか。

A クリニックでの契約は、エステのように法律による中途解約制度はありません。解約は話し合いになります。キャンセル料を払わないといけない場合もあります。

トラブルとなる問題点は、次のようなものがあります。

- ① 強引な勧誘で契約を急かす。
- ② サービスの内容や価格などについての説明が不十分である。
- ③ 医療法や景品表示法上、問題の恐れ

のある広告で誘っている。

④ (美容医療は) キャンセルを拒否されたり、高額なキャンセル料が請求されたりする。

⑤ (エステは) 施術を受けに行くたびに、追加の施術などを勧められ契約させられる。

トラブルを防ぐためには、次の点に注意しましょう。

- ① キャンペーン価格や体験談などの広告をうのみにしない。
 - ② 複数のエステサロンや美容クリニックを比較・検討し、保険適用(美容医療の場合)の有無などについて契約・施術の前に十分に説明を受け、納得したうえで契約する。
 - ③ (美容医療は) いったん契約すると解約・返金が難しいことを知っておく。
- トラブルに遭った場合は、消費生活相談窓口にご相談ください。

消費生活相談

商品やサービスに関する相談

日時 毎週火・金曜日
(祝日を除く)

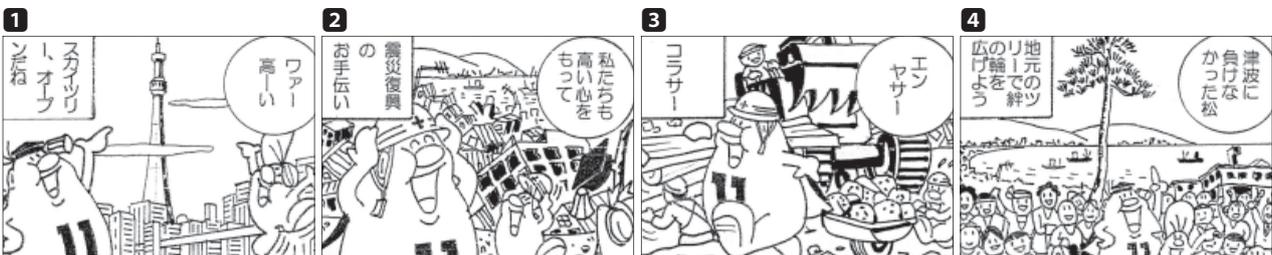
午前10時～午後3時

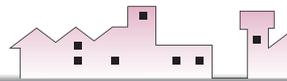
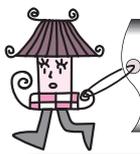
場所 町役場1階103相談室
(☎内線174)

相談方法 面談・電話

てんいち先生

※「てんいち」とは、てん(英語の10)と、いち(1)を合わせて11(毎月11日は人権を確かめあう日)という意味です。





健康

Health

足が不自由なお年寄りの移動を助けてくれる「歩行器」には、さまざまな種類があります。体の状態に合ったものを上手に使うことが大切です。

歩行器は、4脚のフレーム構造でできています。歩行補助具です。使い方はおおよその目安として足を一歩振り出す程度の長さで振り出すと良いでしょう。歩行器のグリップ高さはT字杖と同様に合わせます。

① 固定型歩行器

両手で歩行器全体を持ち上げて前に移動し、そこにつかまりながら足を移動する。骨折などでどちらかの足に体重をかけられないが、両足で立つてバ

国保中央病院だより

国保中央病院 ☎ 32-8800

14

「転ばぬ先の杖」 歩行補助具のすすめと 選び方

リハビリテーション科技士長 亀山卓也

ランスを取り、両手で歩行器を持ち上げられる人向き。

② 交互型歩行器

歩行器の左右の一方を床に置いたまま、もう一方を軽く持ち上げて前に進ませることが出来る。立った状態で、歩行器全体を持ち上げられない人向き。

③ 前輪付き歩行器

前の2脚に車輪が付いているので、後ろの2脚をやや持ち上げるだけで、スムーズに進ませることが出来る。車輪は小さいので段差に弱い。

④ 肘支持型四輪歩行車

4脚すべてに車輪が付いている。歩行器の中心部に立ち、ひじ置きに腕を乗せて体を支えるので、歩行がかなり不安定な人でも使える。

⑤ シルバーカー（買い物型歩行車）

屋外でも使える大きめの車輪が4個付いていて、つかまりながら屋外を歩き、疲れたら座れる。両足で歩けるが、腰が曲がっているなどで、前方にバランスを崩しやすい人向き。

移動能力は、歩行補助具の選択で大きく変化するといっても過言ではありません。装具との併用や専門的な練習を必要とする場合があります。かかりつけの病院や施設のスタッフ、あるいはケアマネージャーなどに相談することをお勧めします。

教育

Education



失敗は成功のもと

町青少年健全育成推進協議会事務局
(生涯教育課内) ☎ 32-6193

失敗など経験の積み重ねに成長あり

ある時、「教室は失敗するところ」という貼り紙が教室にある先生の授業を参観しました。先生はもちろんのこと、子どもたちも人の失敗をしかつたり笑ったりせず、活発で生き生きしていました。そのような環境で子どもたちは、自由に考え、表現し、行動し、経験を積み重ねていくことでしょう。

2002年にノーベル化学賞を受賞した田中耕一さんという科学者がいます。田中さんは、決して天才ではなく、こつこつと勉強や仕事をする「努力家」だそうです。大学では単位が取れずに留年したり、一流会社の就職試験に落ちたりした経験もあるそうです。そのような田中さんが、ある時、新

聞記者の問いに「日本では何事にも完璧であることを求められるから、失敗ばかり目についてしまう。だから、失敗を恐れ、みんな同じ枠にはまり、似たようなことに取り組むことになってしまふ」と語ったそうです。

実際、田中さんのノーベル賞受賞のもとになったのは、偶然の産物だったようです。間違った薬品を混ぜた試料を「もったいない」と捨てずに使った実験が、新発見につながったのです。田中さんの、偶然のなかから何かを察知する能力は、失敗の積み重ねという経験によって培われてきたのです。

子どもたちの良いところに目を

日本では、失敗を「はずかしいこと」「悪いこと」と捉える傾向にあります。失敗をマイナス評価し、笑い、許さない。学校や会社では、ミスをすると減点になります。欧米では、子どもの少女の失敗には目をつぶり、良いところを見つけて褒め、励まし、伸ばすようにすることが基本となつていようです。家庭でも、失敗をあげつらうことなく、その原因を子どもとじっくり話し合ったり、良いところを見つけて評価したりするようにすれば、子どもたちはきつと、自らの力を十分に発揮し、のびのびと、自己実現に向けて取り組むことができるのではないのでしょうか。